News Release 挑み続けるケンザイで、安心と笑顔のあふれる未来を。

2026 年 11 月 11 日

JFE 建材株式会社

JS 斜面工法協会が総会を開催

11 月 4 日、JFE 建材（代表取締役社長　槇本直政）の斜面・防災対策商品を扱う会員で構成する JS 斜面工法協会（会員 36 社、会長・栗原裕之　栗原建材産業社長）はこのほど、東京都港区の TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口にて 2026 年度定期総会を開催、会員など 41 名が参加した。

冒頭に栗原会長は「頻発する災害により安全を求める意識は高まっており、国土強靭化が進む中で、これにマッチした製品・工法の開発が急務となっている。このような状況の中、当協会ではこれまでラインナップに無かった新たな斜面対策商品を開発した。みなさまからご意見をいただきながら、更なるブラッシュアップを重ねてより良い商品にしていければ」と挨拶した。続けて三輪義浩事務局長（JFE 建材防災商品営業部長）が「今年も斜面・法面災害が相次ぎ、私たちの使命は『命と暮らしを守ること』だと実感する。国土強靱化の下、斜面防災技術が求められる場面は確実に広がっている」と述べ、改めて協会の意義を示した。

商品紹介では、11 月より販売開始となる 300kJ 級の高エネルギー吸収型落石防護柵「J-キャフネット 300」を紹介。また、11 月 1 日付での「落石対策ソリューション推進チーム」の結成を発表し、会員の受注活動を後押しするとした。

その後、槇本社長は「新商品である J-キャフネット 300 は会員の協力があって完成した商品。この商品をもって、一つでも多くの減災・防災に貢献し、安心・安全を提供し続けていく」と挨拶した。

総会終了後、JFE 建材特別顧問の草野愼一氏が「令和 9 年度公共事業予算と防災庁の動き」と題して講演を行い、公共事業の予算動向や防災庁の機能、目的等について解説、参加者の理解を深める有意義な時間となった。

その後、品川プリンスホテル内の品川大飯店に会場を移して懇親会を行い、会場は大いに盛り上がりをみせた。